

まちかどエッセー

高橋 由佳



最近、生活の基盤を地方に求めて移住する方や興味関心を持つ方が増えているようです。私の周りにも、地方の古民家を探していたり、地域で仕事を探したりして移住計画を立てている方がいます。

での暮らしや仕事を生き生きとしたものに変えていくためのプロジェクトです。この「シビックプライド」という言葉は、自分の住んでいる都市に対して誇りと愛着を持って、自らもこの都市を形成している一人な

郷土愛とふるさと

私は仙台生まれの仙台育ちですが、一時期石巻に住んでいたこともあり、何となく石巻というまちにも愛着を感じています。現在、有志で活動している「シビックプライド石巻」は、市民が地域に対する誇りを再発見し、連携しながら石巻

のだという認識を持つことを意味しています。

例えば、オランダのアムステルダムでは「私自身がアムステルダムである」というアイデンティティを掲げ、「私の都市を持ち歩く」の意味から「I amsterdam」キャンペーン

幼少期に過ごしたまちには、掛け声の元気な面白い魚屋のおじちゃんがいたこと、教会でもあった保育園の木が大きかったことなど、懐かしさと愛着を感じる風景がありました。

いまこそ自分の住むまちを闊歩しながら、魅力あるまちを再発見していくことが地域活性化につながり、未来ある子どもたちへ継承していくことになるのではないかと思います。

まちを面白くするものがたくさん存在するのに、それに気づいていないのかもしれない。自分たちのまちを好きになると、もっともっとまちが面白くなるのではないのでしょうか。

家族でまちを歩きながら、面白いものを見つけて歩くのはどうでしょう。家族のコミュニケーションがさらに豊かになるかもしれません。

(認定NPO法人SWITCH理事長)